

DM7 Firmware 主なアップデート内容

V2.00

V2.00 の新機能

- 以下の 2 つのエンコーダーモードを追加しました。
 1. User Defined Knobs に Dynamic モードを追加しました。このモードが有効な時、User Defined Knobs を使用して、選択中のチャンネルのハイライトされているモジュールを制御できるようになります。このモードは User Defined Knobs バンクのポップアップメニュー、または User Defined Keys を使用して有効にできます。こちらのモードは DM7 Control の User Defined Knobs には適用されませんのでご注意ください。
 2. Channel Encoder Knobs に Selected Channel View モードを追加しました。このモードが有効な時、Selected Channel でよく使用されるパラメーターが画面上のパラメーター制御エリアやスクリーンエンコーダーから直接制御できるようになります。Module モードを選択することで、DM7 V1.xx ファームウェアで使用されていた従来の動作を利用することも可能です。これらのモードは User Preferences、または User Defined Keys を使用して設定できます。
- Comp Assist 機能を追加しました。この機能が有効となっているチャンネルでは、入力ソースのレベルに基づいて、コンプレッサーの推奨パラメーター設定が適用されます。
- 以下のヤマハ機器が DANTE SUPPORTED DEVICE リストに追加されました。
 - RUio1608SB-D、RUio0804-D、RUio16FLX-D、DME5、DME3
- 以下のサードパーティー機器が DANTE SUPPORTED DEVICE リストに追加されました。

- NEXO DME10、Stagetec NEXUS (XDIP、NEXUS Compact)、DirectOut DANTE.IO、
DANTE.IO DNA (Dual Network Audio modules)、Audio Technica ATW-
DR3240DAN、Shure SLXD4+、SLXD4D+
- 選択した入力チャンネルのパッチビューに「TAKE FROM CHANNEL」オプションを追加しました。
「CHANNEL」を有効にしている場合、インプットパッチ変更時に、そのチャンネルの現在の HA 設定が新しいポートに適用されます。この設定はシーケンシャルパッチを作成する場合にも適用されます。
- CH JOB メニューの CH COPY でアウトプットチャンネルをコピーするとき、Channel Parameter と Incoming Sends をコピー対象として選択できるようになりました。
- CH JOB メニューに Channel Move を追加しました。
- パッチメニューのパッチボタンに、Dante の Port ID、Port Label を表示するようになりました。
- 以下の OSC パラメーターを追加しました。
 - Input Channel の Digital Gain
 - OSC アドレス
 - MIXER: Current/InCh/DigitalGain
 - Input Channel の Phase
 - OSC アドレス
 - MIXER: Current/InCh/Phase
- LLDP による Dante 最適設定をサポートしました。「Dante 最適設定機能」に対応したヤマハ製ネットワーク機器に接続すると、LLDP により機器同士が連携し、Dante に最適な設定が自動的に適用されます。

V2.00 の改善点

- 画面の表示切替速度を改善しました。
- FX RACK にて使用できるマルチエフェクトプロセッサ群のグラフィック表示を刷新しました。

- SENDS ON FADER モードにて、ステレオに設定された MIX/MATRIX バスへの SEND PAN がスクリューエンコーダーで操作できるようになりました。
- User Preferences 画面から Home Key Behavior の設定ができるようになりました。ホームボタンを押した時のページ遷移の挙動 (Selected Ch 画面および Overview 画面) を指定することができます。
- User Preferences 画面から[FADER BANK]>[Meter]Link の設定が可能になりました。こちらの設定が有効な時、メーターブリッジエリアが現在選択されているフェーダーバンクに連動します。
- より安定した性能を発揮できるよう、Fader Assist 機能の再設計および改善を行いました。なお、Assist の設定画面は Bay 画面メニューに移動されましたのでご注意ください。
- Naming Assist 機能使用時に楽器アイコンの推定精度を改善しました。
- Screen Protection 機能を追加しました。本設定が有効のとき、何も操作せずに 4 時間が経過すると画面とパネルの輝度が下がり、さらに 4 時間経過後 (計 8 時間後) 黒画面表示となります。いずれかの操作をすると通常の明るさに戻ります。本機能は初期設定で有効となります。必要に応じ MAINTAINANCE 画面から設定を変更ください。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信している時にも、Dante 設定の制御ができるようになりました。
- Dante Domain Manager (DDM) 環境において、DM7 コンソールが DDM サーバーと異なる Subnet に属している場合の IO 機器デバイスのマウント制御およびリモート HA コントロールの安定性を改善しました。

V2.00 で修正された不具合

- DM StageMix との同期・再同期処理中にシーンリコールが行われると、その後 DM7 コンソールが一部の操作に反応しなくなる場合があった不具合を修正しました。
- マウントした Dante 機器とのパッチがずれることがあった不具合を修正しました。

- ごくまれに Power loss to PSU detected のエラーが表示され、Bay 画面が応答しなくなることがあった不具合を修正しました。
- User Defined Keys による FADER BANK 選択で SEL CH が更新されないことがあった不具合を修正しました。
- DANTE IO DEVICE 画面で、異なる ULXD の RF 情報が表示されることがあった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっても、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。この問題は動作に影響しません。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェーンモードになります。リダundant接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.77

V1.77 で修正された不具合

- V1.73 以前の CTL-DM7 のファームウェアアップデートに失敗する不具合を修正しました。

V1.76 の変更点

- ファームウェアの安全性を高めました。機能および動作は V1.75 と同等です。DM7 Firmware V1.76 以降へのバージョンアップを行うと、以後ロールバックは V1.76 までに制限されます。

V1.75 で修正された不具合

- DM7 ファームウェア V1.51 から V1.74 へ直接アップデートを実施すると、ファームウェア更新に失敗する不具合を修正しました。

V1.74 の新機能

- Focus Library に対応しました。
- GLOBAL PASTE PARAMETERS に Scene Focus を追加しました。

V1.74 の改善点

- Shure 製品 (ULX-D) の最新のバリエーションおよび帯域に対応しました。

V1.74 で修正された不具合

- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなる不具合を修正しました。
- Dugan Automixer のパッチ候補ポップアップに Name Language の設定が反映されていなかった不具合を修正しました。
- Mix to Matrix で PAN/BALANCE を PAN MODE にしたときの信号レベルが正常とならない不具合を修正しました。
- Analog Delay Ratio にて FX Library No.108 Deep をリコールすると発振していた不具合を修正しました。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE 画面で、ラックの選択を変更するとパラメーター値が意図せず変化する場合がある不具合を修正しました。
- MIDI Ctrl だけが保存されている DM7 シリーズ設定ファイルをロードできない不具合を修正しました。
- With System Settings オフで DM7 シリーズ設定ファイルをロードしても PY64-D の Dante 設定が変更される不具合を修正しました。
- 内蔵オシレータのピンクノイズのレベルが Fs によって違っていた不具合を修正しました。
- GPI IN に CUE Point を設定するとコンソールがフリーズして自動的に再起動する不具合を修正しました。
- DCA ROLLOUT した状態から別のカスタムフェーダーレイヤーに遷移すると、誤ったフェーダーレイヤーが展開されることがある不具合を修正しました。

- Fs が 48kHz のときに Isolator エフェクトの Xover Hi や Xover Lo パラメーターを 12.5kHz 以上に設定すると発振していた不具合を修正しました。
- PY-MIDI-GPI インターフェースカードに GPI の信号を 1 回入力しただけで 2 回処理されることがあった不具合を修正しました。

V1.73 で修正された不具合

- DM7 および DM7 Compact から検出可能な Dante 機器が最大 63 台までとなっていた不具合を修正しました(最大 127 台まで検出可能)。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。

V1.73 の改善点

- DM7、DM7 Compact および PY64-D カードの Dante ファームウェアを更新しました。
- 間違った Dante クロック設定を防止するため、PY64-D カードを装着していない場合は Sync To External を自動設定にしました。
- WORD CLOCK 画面に Sync To External 表示を追加しました。
- Dante ネットワークの PTP リーダー機器が遷移しても、音切れが発生しないように改善しました。

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。
- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかった

たり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力がパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。

- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP (Device Mount) 画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MAD1 IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデジチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しください。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行ってください。アップデート完了後、接続を元にお戻ください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.76

V1.76 の変更点

- ファームウェアの安全性を高めました。機能および動作は V1.75 と同等です。DM7 Firmware V1.76 以降へのバージョンアップを行うと、以後ロールバックは V1.76 までに制限されます。

V1.75 で修正された不具合

- DM7 ファームウェア V1.51 から V1.74 へ直接アップデートを実施すると、ファームウェア更新に失敗する不具合を修正しました。

V1.74 の新機能

- Focus Library に対応しました。
- GLOBAL PASTE PARAMETERS に Scene Focus を追加しました。

V1.74 の改善点

- Shure 製品 (ULX-D) の最新のバリエーションおよび帯域に対応しました。

V1.74 で修正された不具合

- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなる不具合を修正しました。
- Dugan Automixer のパッチ候補ポップアップに Name Language の設定が反映されていなかった不具合を修正しました。
- Mix to Matrix で PAN/BALANCE を PAN MODE にしたときの信号レベルが正常とならない不具合を修正しました。

- Analog Delay Ratio にて FX Library No.108 Deep をリコールすると発振していた不具合を修正しました。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE 画面で、ラックの選択を変更するとパラメーター値が意図せず変化する場合があります不具合を修正しました。
- MIDI Ctrl だけが保存されている DM7 シリーズ設定ファイルをロードできない不具合を修正しました。
- With System Settings オフで DM7 シリーズ設定ファイルをロードしても PY64-D の Dante 設定が変更される不具合を修正しました。
- 内蔵オシレータのピンクノイズのレベルが Fs によって違っていた不具合を修正しました。
- GPI IN に CUE Point を設定するとコンソールがフリーズして自動的に再起動する不具合を修正しました。
- DCA ROLLOUT した状態から別のカスタムフェーダーレイヤーに遷移すると、誤ったフェーダーレイヤーが展開されることがある不具合を修正しました。
- Fs が 48kHz のときに Isolator エフェクトの Xover Hi や Xover Lo パラメーターを 12.5kHz 以上に設定すると発振していた不具合を修正しました。
- PY-MIDI-GPI インターフェースカードに GPI の信号を 1 回入力しただけで 2 回処理されることがあった不具合を修正しました。

V1.73 で修正された不具合

- DM7 および DM7 Compact から検出可能な Dante 機器が最大 63 台までとなっていた不具合を修正しました(最大 127 台まで検出可能)。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。

V1.73 の改善点

- DM7、DM7 Compact および PY64-D カードの Dante ファームウェアを更新しました。
- 間違った Dante クロック設定を防止するため、PY64-D カードを装着していない場合は Sync To External を自動設定にしました。
- WORD CLOCK 画面に Sync To External 表示を追加しました。
- Dante ネットワークの PTP リーダー機器が遷移しても、音切れが発生しないように改善しました。

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。
- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかったり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力がパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線 (SECONDARY) に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)

- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP (Device Mount) 画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっても、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.75

V1.75 で修正された不具合

- DM7 ファームウェア V1.51 から V1.74 へ直接アップデートを実施すると、ファームウェア更新に失敗する不具合を修正しました。

V1.74 の新機能

- Focus Library に対応しました。
- GLOBAL PASTE PARAMETERS に Scene Focus を追加しました。

V1.74 の改善点

- Shure 製品 (ULX-D) の最新のバリエーションおよび帯域に対応しました。

V1.74 で修正された不具合

- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなる不具合を修正しました。
- Dugan Automixer のパッチ候補ポップアップに Name Language の設定が反映されていなかった不具合を修正しました。
- Mix to Matrix で PAN/BALANCE を PAN MODE にしたときの信号レベルが正常とならない不具合を修正しました。
- Analog Delay Ratio にて FX Library No.108 Deep をリコールすると発振していた不具合を修正しました。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE 画面で、ラックの選択を変更するとパラメーター値が意図せず変化する場合がある不具合を修正しました。
- MIDI Ctrl だけが保存されている DM7 シリーズ設定ファイルをロードできない不具合を修正しました。
- With System Settings オフで DM7 シリーズ設定ファイルをロードしても PY64-D の Dante 設定が変更される不具合を修正しました。

- 内蔵オシレータのピンクノイズのレベルが Fs によって違っていた不具合を修正しました。
- GPI IN に CUE Point を設定するとコンソールがフリーズして自動的に再起動する不具合を修正しました。
- DCA ROLLOUT した状態から別のカスタムフェーダーレイヤーに遷移すると、誤ったフェーダーレイヤーが展開されることがある不具合を修正しました。
- Fs が 48kHz のときに Isolator エフェクトの Xover Hi や Xover Lo パラメーターを 12.5kHz 以上に設定すると発振していた不具合を修正しました。
- PY-MIDI-GPI インターフェースカードに GPI の信号を 1 回入力しただけで 2 回処理されることがあった不具合を修正しました。

V1.73 で修正された不具合

- DM7 および DM7 Compact から検出可能な Dante 機器が最大 63 台までとなっていた不具合を修正しました(最大 127 台まで検出可能)。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。

V1.73 の改善点

- DM7、DM7 Compact および PY64-D カードの Dante ファームウェアを更新しました。
- 間違った Dante クロック設定を防止するため、PY64-D カードを装着していない場合は Sync To External を自動設定にしました。
- WORD CLOCK 画面に Sync To External 表示を追加しました。
- Dante ネットワークの PTP リーダー機器が遷移しても、音切れが発生しないように改善しました。

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。
- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。

- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかったり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力のパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが-6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なりコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP (Device Mount)画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再

起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.74

V1.74 の新機能

- Focus Library に対応しました。
- GLOBAL PASTE PARAMETERS に Scene Focus を追加しました。

V1.74 の改善点

- Shure 製品 (ULX-D) の最新のバリエーションおよび帯域に対応しました。

V1.74 で修正された不具合

- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなる不具合を修正しました。
- Dugan Automixer のパッチ候補ポップアップに Name Language の設定が反映されていなかった不具合を修正しました。
- Mix to Matrix で PAN/BALANCE を PAN MODE にしたときの信号レベルが正常とならない不具合を修正しました。
- Analog Delay Ratio にて FX Library No.108 Deep をリコールすると発振していた不具合を修正しました。

- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE 画面で、ラックの選択を変更するとパラメーター値が意図せず変化する場合があります不具合を修正しました。
- MIDI Ctrl だけが保存されている DM7 シリーズ設定ファイルをロードできない不具合を修正しました。
- With System Settings オフで DM7 シリーズ設定ファイルをロードしても PY64-D の Dante 設定が変更される不具合を修正しました。
- 内蔵オシレータのピンクノイズのレベルが Fs によって違っていた不具合を修正しました。
- GPI IN に CUE Point を設定するとコンソールがフリーズして自動的に再起動する不具合を修正しました。
- DCA ROLLOUT した状態から別のカスタムフェーダーレイヤーに遷移すると、誤ったフェーダーレイヤーが展開されることがある不具合を修正しました。
- Fs が 48kHz のときに Isolator エフェクトの Xover Hi や Xover Lo パラメーターを 12.5kHz 以上に設定すると発振していた不具合を修正しました。
- PY-MIDI-GPI インターフェースカードに GPI の信号を 1 回入力しただけで 2 回処理されることがあった不具合を修正しました。

V1.73 で修正された不具合

- DM7 および DM7 Compact から検出可能な Dante 機器が最大 63 台までとなっていた不具合を修正しました(最大 127 台まで検出可能)。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。

V1.73 の改善点

- DM7、DM7 Compact および PY64-D カードの Dante ファームウェアを更新しました。

- 間違った Dante クロック設定を防止するため、PY64-D カードを装着していない場合は Sync To External を自動設定にしました。
- WORD CLOCK 画面に Sync To External 表示を追加しました。
- Dante ネットワークの PTP リーダー機器が遷移しても、音切れが発生しないように改善しました。

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。
- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかったり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。

- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力のパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。

- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP (Device Mount) 画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっても、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデジチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.73

V1.73 で修正された不具合

- DM7 および DM7 Compact から検出可能な Dante 機器が最大 63 台までとなっていた不具合を修正しました(最大 127 台まで検出可能)。
- 一部の他社製 Dante 機器が接続されていると、他の Dante 機器をマウントできない場合がある不具合を修正しました。

V1.73 の改善点

- DM7、DM7 Compact および PY64-D カードの Dante ファームウェアを更新しました。
- 間違った Dante クロック設定を防止するため、PY64-D カードを装着していない場合は Sync To External を自動設定にしました。
- WORD CLOCK 画面に Sync To External 表示を追加しました。
- Dante ネットワークの PTP リーダー機器が遷移しても、音切れが発生しないように改善しました。

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。
- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかったり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力がパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)

- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP (Device Mount) 画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなることがあります。その場合はディレイ値を小さくしてください。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.72

V1.72 で修正された不具合

- ごく稀にコンソールがフリーズし、自動的に再起動する不具合を修正しました。

- Dynamic EQ4 のメーター表示が誤っていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクで DCA Roll-out されたペアチャンネルの [SEL] を押すと、チャンネルの L/R がトグルで変更され、カスタムフェーダーのアサイン設定が変更されてしまう不具合を修正しました。
- DM7 シリーズ V1.60 以上にて USER DEFINED KEYS に FADER BANK を割り当てた状態で保存した設定ファイルを DM7 Editor でロードすると、FADER BANK ウィンドウが表示されなかったり、USER DEFINED KEY ボタンを押してもアサインしている機能が動作しなかったりする不具合を修正しました。

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
- Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
- Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
- Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力のパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが-6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP(Device Mount)画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなることがあります。その場合はディレイ値を小さくしてください。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。リダundant接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- 一部の USB メモリーを使用すると、ファームウェアのアップデートが開始されない場合があるという報告を受けております。その場合は他の USB メモリーに変更して再度アップデートをお試しいただくようお願いします。
- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.71

V1.71 で修正された不具合

- DM7 Firmware V1.60 および V1.70 にて、以下の条件で DM7 が正常に起動しない不具合を修正しました。
 - Dante SECONDARY ポートがリダンダントに設定されている。
 - Dante SECONDARY ポートがリンクアップしている。
 - Dante PRIMARY/SECONDARY ポート両方に静的 IP アドレスが設定されている。
- フェーダーキャリブレーション実施後にフェーダーの位置が正確に揃わないことがある不具合を修正しました。

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力のパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。

- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP(Device Mount)画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。
- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなることがあります。その場合はディレイ値を小さくしてください。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっても、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MAD1 IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェインモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact に“Startup Failed”のエラーメッセージが表示されている状態ではファームウェアアップデートを正常に行うことができません。SECONDARY ポートの接続を外した状態で再起動し、“Startup Failed”のエラー状態を解消後、アップデートを行なってください。アップデート完了後、接続を元にお戻しください。
- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.70

V1.70 の新機能

- Rio3224-D3、Rio1608-D3 に対応しました。
- Shure 社製ワイヤレスマイクロホンシステム SLX-D に対応しました。
- Waves 社製オーディオインターフェースカード WSG-PY64 に対応しました。

V1.70 の改善点

- Input/Output Delay 等の設定がフレームレート 50fps、59.94fps、60fps に対応しました。
- Talkback 画面に Dimmer For Buses レベルを追加しました。これにより Dimmer For Buses と Dimmer on TB を独立して設定できるようになりました。

V1.70 で修正された不具合

- MONITOR SOURCE DEFINE 画面でのパッチ変更が正常に機能していなかった不具合を修正しました。
- Dante 入力のパッチされたインプットチャンネルをペア設定すると、OMNI IN 1 と 2 の HA ゲインが -6dB にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- B チャンネルのない 31Band GEQ の B チャンネルをインサートすると音が止まっていた不具合を修正しました。
- DEVICE SELECT 画面の SUPPORTED DEVICE 画面で Device Type にメーカー名が表示されていなかった不具合を修正しました。
- [SEL]キーの同時押しによってペアチャンネルを設定した時に別のペアチャンネルが解除されると、一時的なリコールセーフが有効のままになっていた不具合を修正しました。
- リダンダント接続時、副回線(SECONDARY)に切り替わったときのメッセージが、2 回目以降の切り替わりでは表示されていなかった不具合を修正しました。
- Bay L と Bay C の両方でログイン画面を開いているとき、片方の画面でログインしても、もう片方のログイン画面が閉じていなかった不具合を修正しました。(DM7)
- CH LINK を設定したチャンネルに Focus Recall 設定を行うと、Focus Recall 画面に誤った設定情報が表示される不具合を修正しました。
- Dante をパッチした入力チャンネルに CH Library をリコールしても HA のアナログゲインや+48V のオン/オフが変化しなかった不具合を修正しました。
- DANTE SETUP(Device Mount)画面で Secondary IP Address が常に 0.0.0.0 と表示されていた不具合を修正しました。

- カスタムフェーダーバンクに Selected CH や SEND MAIN をアサインしてもメーターエリアのメーターが表示されていなかった不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションが正常に機能していなかった不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなることがあります。その場合はディレイ値を小さくしてください。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MAD1 IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると“PY Card Error, Internal Connection”という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.60

V1.60 の新機能

- PY64-D オーディオインターフェースカードに対応しました。
- AFC Image のコントロールに対応し、オブジェクト操作やシーンリコールの連携ができるようになりました。これらの機能を使用するためには Theatre Package が必要となります。
- 5.1ch サラウンドパン/サラウンドモニターに対応しました。これらの機能を使用するためには Broadcast Package が必要となります。
- Nuendo / Cubase Pro のコントロールルーム機能を User Defined キー、User Defined ノブに割り当てられるようになりました。これらの機能を使用するためにはホストコンピューターに「Yamaha Console Extension V3.6.0」がインストールされている必要があります。
- DANTE SUPPORTED DEVICE に Digital Audio Labs Livemix Personal Monitor System を追加しました。
- FX の Space Simulator を除く Reverb に Lo Ratio パラメーターを追加しました。
- 設定ファイルを内蔵ストレージにもセーブ/ロードできるようになりました。

V1.60 の改善点

- DM7 が DDM (Dante Domain Manager)に参加している間、他の Dante 機器のリモートコントロールが機能するようになりました。
- 電源を切ってもフェーダーバンクモードの設定が保存されるようになりました。
- UserKey に DM7 Control の User Defined キー、User Defined ノブ、カスタムフェーダーの設定が含まれるようになりました。
- Theatre Package や Broadcast Package のライセンスアクティベーションの過程での電源再起動を不要にしました。
- Shure 製品 (QLX-D, ULX-D) の最新のバリエーションおよび帯域に対応しました。
- マウントできる Rio-D2 の Unit ID の値域を Y000 から Y07F までへと拡張しました。
- 誤操作防止のため、MonitorMix アプリケーションから操作できる DM7 シリーズのバスを制限できるようにしました。
- 内蔵 Dante や PY64-D の Sync To External が手動で設定できるようになりました。
- プラグインの BPM とタップテンポの同期に関する動作を改善しました。
- EQ 拡張画面などを User Defined キーで開いたとき、同じ User Defined キーを再び押すとその画面が閉じるようになりました。
- Manual 画面にリファレンスマニュアルへの二次元コードが表示されるようになりました。
- Manual 画面にキーボードショートカットの説明が表示されるようになりました。
- Dante 機器を DM7 にマウントしている際の安定性が向上しました。

V1.60 で修正された不具合

- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないときに "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示される不具合を修正しました。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信していると、実際には主回線(PRIMARY)での通信が途切れているにも関わらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続ける不具合を修正しました。

- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能していなかった不具合を修正しました。
- ID3 タグのサイズ長が 0 の MP3 ファイルを含んだ USB ストレージデバイスを挿すとユーティリティースクリーンがブラックアウトする不具合を修正しました。
- 現在表示されている画面内の別タブを Page Bookmark している User Defined キーを押すと、画面が閉じてしまう不具合を修正しました。
- Set Nominal Value を実行すると、意図せぬチャンネルのフェーダーが変化する場合がある不具合を修正しました。
- 何もマウントされていないプレミアムラックや EQ ラックをインサートしたときに音声信号が通過しない不具合を修正しました。
- Rack 画面で異なるタブの同じ位置に同じタイプの GEQ がマウントされていると、タブ遷移したときにサムネイルの表示が更新されない不具合を修正しました。
- Dynamics の KeyIn ソースのパッチ選択画面において、一部のチャンネルネーム表示が誤っていた不具合を修正しました。
- シーンリコールしても一時的なミュート解除が有効のままになっていた不具合を修正しました。
- 両方の Bay で同時にフェーダーを操作して Auto Channel Select を発動させると、片方の Bay で Auto Channel Select が機能しない不具合を修正しました。(DM7)
- Shure 製品が内蔵電池で動作していてもバッテリー残量に “EXT” と表示されることがある不具合を修正しました。
- ワードクロックソースとして Dante を使用中に RTA で誤った周波数ピークが検出されることがある不具合を修正しました。
- PY64-MD オーディオインターフェースカード使用中にワードクロック画面のインジケーターが誤って赤く表示されることがある不具合を修正しました。
- USB ストレージデバイスへの録音中にシーンリコール操作が遅くなることがある不具合を修正しました。

- DANTE がパッチされていないインプットチャンネルで SEL キーを長押しすると DANTE1 への PORT IDENTIFY が実行されていた不具合を修正しました。
- ユーティリティースクリーンで SCENE LIST 画面を開くと Set by SEL がオフされていた不具合を修正しました。
- CH Default を実行すると、FIXED や MIXMINUS のバスへの Send も誤ってオンになってしまう不具合を修正しました。
- シーンリコールによってパッチを変更すると、パッチグリッドビューのカウント表示がおかしくなっていた不具合を修正しました。
- ユーザーレベルで操作が禁止されているときの軽微な不具合を修正しました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- ワードクロック周波数が 96kHz で動作しているときに FX プラグインでディレイ値を大きくし過ぎると R 側の音が出なくなることがあります。その場合はディレイ値を小さくしてください。
- Dante 端子とネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続すると、FOR MIXER CONTROL で設定されている IP アドレスと FOR DEVICE CONTROL で設定されている IP アドレスのサブネットが異なっている場合、通信が不安定になる場合があります。接続するネットワークスイッチを分けるか VLAN を設定してネットワークを分割してください。
- PY64-MD の MADI IN 1/2 端子にオーディオ信号の入力がない状態で Redundant ボタンと Split ボタンを両方ともオンにすると “PY Card Error, Internal Connection” という警告が DM7 のユーティリティースクリーンに表示されることがあります。

- DM7/DM7 Compact 本体にて、CH LINK 設定を行ったチャンネルへの Focus Recall を設定した場合、Scene 内の Focus 設定が正常に保存されない不具合が見つかりました。CH LINK が設定されたチャンネルへの Focus Recall 設定は DM7 Editor で行ってください。この問題は将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。
- Initialize All Memory を実施後に DM7 / DM7 Compact の電源を再起動すると、メンテナンス画面が表示されることがあります。その場合は DM7 / DM7 Compact の電源を再起動してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.54

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.54 で修正された不具合

- DM7 シリーズにマウントされたワイヤレス RF デバイスの RX ゲインが、意図せずに 0dB にリセットされてしまうことがある不具合を修正しました。
- Network For Device Control が Static 設定のとき、DANTE I/O DEVICE の HA をリモート操作できないことがある不具合を修正しました。
- PY-MIDI-GPI カードが MIDI のランニングステータスに未対応となっていた不具合を修正しました。
- DM7 シリーズに装着した PY-MIDI-GPI カードの GPI IN ポートに信号を入力しても DM7 シリーズが反応しない不具合を修正しました。
- Automixer 画面を開いたとき、アサインされているチャンネル番号が表示されないことがある不具合を修正しました。
- パスワード設定のされているユーザーアカウントでログインした状態で再起動を行うと、そのアカウントのパスワードを入力しないと Guest でのログインもできなくなってしまう不具合を修正しました。
- メインセクションに DCA がアサインされているとき、DCA の ON ボタンを押しても反応しないことがある不具合を修正しました。
- LED CALIBRATION 画面で Color をタッチしても、対象となるキーやノブの LED が点灯しない不具合を修正しました。
- DM7 シリーズを長時間連続稼働した場合に、画面表示および操作に対する反応が遅くなったり、操作を受け付けなくなることがある問題を修正しました。

V1.53 で修正された不具合

- Mixer Control および Device Control ネットワーク通信がごく稀にできなくなることがある不具合を修正しました。
- [SEL]キーを用いた一時リコールセーフの後でパッチやリコールセーフの設定を変更すると、シーンリコールしてもパラメーターが変更されなくなる不具合を修正しました。

- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、対応している DANTE I/O DEVICE の HA をリモート操作できない不具合を修正しました。
- Bay L のパネル上のフェーダー割り当てが CUSTOM のときに[USER DEFINED KEYS]を Fader Bank として使用すると USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示が誤っていた不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE にマウントしたワイヤレスマイクレシーバーやアンプをアンマウントすると、マウントしていた機器の設定値がデフォルト値に戻されてしまうことがある不具合を修正しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY]ボタンがグレイアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。

- ・ ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- ・ Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- ・ Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- ・ DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- ・ 一時リンク機能を追加しました。
- ・ Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- ・ Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- ・ Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- ・ MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- ・ MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- ・ I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- ・ DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- ・ DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- ・ DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- ・ USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.54 の改善点

- ・ +48V Main の初期値を ON に変更しました。

- ルートディレクトリーに DM7 シリーズのファームウェアが保存された USB メモリーが挿入されているとき、USB メモリー内のファームウェアが DM7 シリーズ本体と同じバージョンであってもアップデートできるように変更しました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning:Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信していると、実際には主回線(PRIMARY)での通信が途切れているにも関わらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェインモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、マウントされたデバイスが Virtual 接続表示となり、Dante パッチなどの Dante 設定の変更ができなくなりますが、Dante 音声や R シリーズの HA コントロールに影響はありません。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.53

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.53 で修正された不具合

- Mixer Control および Device Control ネットワーク通信がごく稀にできなくなることがある不具合を修正しました。
- [SEL]キーを用いた一時リコールセーフの後でパッチやリコールセーフの設定を変更すると、シーンリコールしてもパラメーターが変更されなくなる不具合を修正しました。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、対応している DANTE I/O DEVICE の HA をリモート操作できない不具合を修正しました。
- Bay L のパネル上のフェーダー割り当てが CUSTOM のときに[USER DEFINED KEYS]を Fader Bank として使用すると USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示が誤っていた不具合を修正しました。

- DANTE I/O DEVICE にマウントしたワイヤレスマイクレシーバーやアンプをアンマウントすると、マウントしていた機器の設定値がデフォルト値に戻されてしまうことがある不具合を修正しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY] ボタンがグレイアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないこと

があります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信していると、実際には主回線(PRIMARY)での通信が途切れているにも関わらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지チェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.52

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。

- LOG 機能を拡充しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY] ボタンがグレイアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないこと

があります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning:Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信していると、実際には主回線(PRIMARY)での通信が途切れているにも関わらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.51

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning:Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見付かりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.50

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。

- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- 画面下部のエンコーダーが Channel Encoder として機能している状態で、DCA Rollout 機能の ON/OFF を行った場合、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずにノミナル値に変更されてしまうことがあります。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning:Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見付かりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.03

- 初期リリースバージョン(プレリリース版)

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。